

⑩井川地区 【水土里ネット井川】

学習田農業体験活動及び収穫祭

今年も井川小学校5年生による学習田体験農業活動「田植え・稲刈り」が行われ、当土地改良区が21世紀創造運動の一環として参加してから7年目に入った。

当土地改良区管理の坂本堤に隣する学習田において、井川町農業委員より苗の植え方について説明された後、型枠で苗を植える目印を付け田植え作業に入った。最初は、泥に足がとられないよう慎重に苗を植えていたが、慣れるにしたがい方々から「苗くださ〜い」と元気な声が上がっていた。子供達の中には苗のキャッチに失敗したり、泥に足をとられ転んだりして全身泥だらけになっている姿も見られた。

稲刈りでは、前日の雨でぬかるんでいるところもあり、一部コンバインによる刈り取りも行われたが、子供達は慣れない手つきで黄金色に育った稲を刈り取りしていた。刈り取った稲は一束ずつ束ねられ、子供たちがコンバインまで運び脱穀までの作業を体験していた。

今回、毎年行われる収穫感謝祭には参加できなかったが、年間を通した体験農業活動の感想発表の後、保護者やお世話になった方々と「みそたんぼ」を作り収穫の喜びを味わったようだ。

今後も関係機関と連携を図りながら学習田体験農業活動に参加し、水土里ネットの役割や水利施設の重要性について啓発していきたいと思います。



活動体制	
実施主体	井川小学校
後援・連携	井川町教育委員会 井川町農業委員会 水土里ネット井川
実施期間	田植え5月31日 稲刈り10月4日 収穫感謝祭12月13日
参加者	井川小学校（5年生、教職員、保護者）井川町（農業委員会、教育委員会）等 延べ210名
報道関連	湖畔時報社 井川広報誌
活動実施年数	7年
連絡先	〒018-1512 南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口36-2 井川町土地改良区 TEL.018-874-2105
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット井川（小林 秀昭）					
○活動の目標及び達成率		目標	農業水利施設の役割と重要性		
		達成率	70%		
○活動に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> 行政、教育機関との連携は順調であり定着している。 農業水利施設の役割を理解してもらうよう継続していく。 			
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	多面的機能を看板やパンフでPR
①役職員・組合員の参加	C	役職員の意識は向上したが、組合員までは浸透していない	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	小学生を対象に活動	①他組織との連携構築	B	行政・教育機関と連携されているが他の組織との連携までにはいっていない
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	C	一部の活動地域には深まっており、今後、全体的な啓蒙が必要
①基本理念の設定	B	取り組みが定着してきている	③施設管理・地域資源の保全強化	C	施設見学等での現状把握が必要
②地域の歴史等の伝承	B	手作業により先人の苦勞を体験	④運動の地域づくりへの関わり	C	一部地域だけでなく広域的な関わりが必要
③運動の先駆性	C	今後、更なる発展が必要	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	E	農地・水は実施していない
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	D	地域農業の振興まで至っていない
①運動の継続性	A	継続してる	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	C	全体的な広がり薄い	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に活動しているが、今後は地域住民にも啓発普及活動を展開していければと思う。 		
③運動の計画性	B	計画的に実施されている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他